

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)角上魚類草加店	階数	地上2F
建設地	埼玉県草加市	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準住居	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,751 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2023年3月27日
敷地面積	10,426 m <sup>2</sup>	作成者	(株)ケークリエイト
建築面積	2,223 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月30日
延床面積	2,345 m <sup>2</sup>	確認者	(株)ケークリエイト



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 86% ③上記+②以外の 86% ④上記+ 86%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア= 2.7**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア= 2.8</p>	<p>Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3のスコア= 2.2</p>

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア= 2.9**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア= 2.9</p>	<p>LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>敷地内の通行方向を検討し、十分な駐車台数確保し、周囲交通環境への負荷を低減する。敷地周辺の道路、隣地との距離を保ち、良い景観の形成に配慮した。真空ガラス、太陽光パネルを採用し、省エネルギー効果に因る。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>構造設計、設備計画は将来増築や改築に対する柔軟性に配慮した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>売場天井高3.6m、作業場・事務所天井高2.7m、快適な商業空間と執務空間を実現した。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>売場に開口部を多く取り、自然光を採り入れられるように配置した。風除室を設け、ガラスを真空ガラスを採用し、冷暖房負荷の低減を図る。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>内装材はF☆☆☆☆材を使用した。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>十分な駐車台数確保し、周囲交通環境への負荷を低減する。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
(仮称)角上魚類草加店

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>			<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>						<b>1.8</b>	<b>0.15</b>			<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	<b>3.0</b>		
1.2 遮音						<b>1.0</b>	<b>0.40</b>			
1 開口部遮音性能						<b>1.0</b>	<b>1.00</b>			
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
<b>2 温熱環境</b>						<b>3.0</b>	<b>0.35</b>			<b>3.0</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 室温						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2 外皮性能						<b>3.0</b>	<b>0.17</b>			
3 ゾーン別制御性						<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2.3 空調方式						<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用						<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備		トップライト設置した。				<b>5.0</b>	<b>1.00</b>			
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御						<b>1.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			<b>3.0</b>
4.1 発生源対策						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 化学汚染物質						<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
4.2 換気						<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 換気量						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
4.3 運用管理						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
1 CO <sub>2</sub> の監視						<b>1.0</b>	<b>0.50</b>			
2 喫煙の制御		室内に禁煙とする。				<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.5</b>	<b>0.40</b>			<b>3.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画						<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
1.2 心理性・快適性						<b>3.6</b>	<b>0.30</b>			
1 広さ感・景観		売場天井高3.6m、事務所天井高2.7m、快適な商業空間を実現でき				<b>5.0</b>	<b>0.33</b>			
2 リフレッシュスペース						<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
3 内装計画						<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
1.3 維持管理						<b>4.0</b>	<b>0.30</b>			
1 維持管理に配慮した設計		清潔保持しやすく、掃除しやすい仕様を採用した。				<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
2 維持管理用機能の確保						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.8</b>	<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						<b>3.0</b>	<b>0.80</b>			
2 免震・制震・制振性能						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 躯体材料の耐用年数						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						<b>3.0</b>	<b>0.10</b>			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						<b>3.0</b>	<b>0.10</b>			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
6 主要設備機器の更新必要間隔						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2.4 信頼性						<b>2.4</b>	<b>0.20</b>			
1 空調・換気設備						<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
2 給排水・衛生設備						<b>2.0</b>	<b>0.20</b>			
3 電気設備						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
4 機械・配管支持方法						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
5 通信・情報設備						<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			

3 対応性・更新性			2.7	0.30	-	2.7
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	-	-
	1 階高のゆとり		3.0	0.60	-	-
	2 空間の形状・自由さ		1.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR1 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	3.0
2 自然エネルギー利用		トップライト設置した。	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.85	2.7	0.50	-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-
	集合住宅の評価		-	-	-	-
	4.1 モニタリング		-	-	-	-
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.14	-	-
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		-	-	-	-
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.29	-	-
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.29	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装材・設備を別々に取り出すことができるように計画した。	5.0	0.29	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を採用した。	5.0	0.30	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-
	1 消火剤	不活性ガス消火剤を採用した。	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-
	3 冷媒		3.0	1.00	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-
2 地域環境への配慮			3.0	0.50	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
	2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-
	1 騒音		3.0	0.33	-	-
	2 振動		3.0	0.33	-	-
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-
	3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-

# CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)角上魚類草加店	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	-------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.0	=	2.0 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
風除室、真空ガラス、空調設備等を設置し、冷暖房の負荷を低減することを努める。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
交差点に接する角地に30㎡の広場を設け、敷地内緑化、接道緑化を図った。出入場の車動線を配慮し、場内一方通行、出入口分けて設置、駐車台数をできるだけ設置等の、周りの道路への負担を最小限を努力した。			

: 入力欄